

## 区ビジョン策定に係るアンケート結果 まとめ

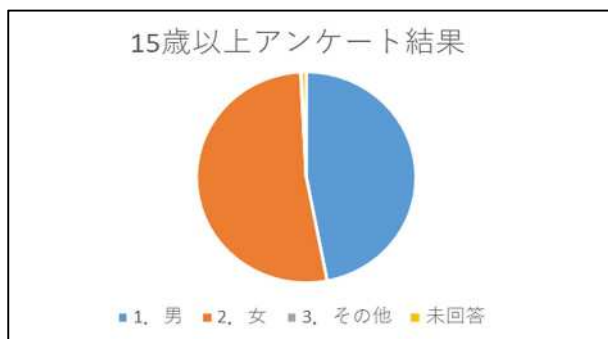
○回答総数 (15歳以上) 969名  
(中学校3年生) 1,179名※参考

※未回答により表の数値と回答総数が異なる場合があります。

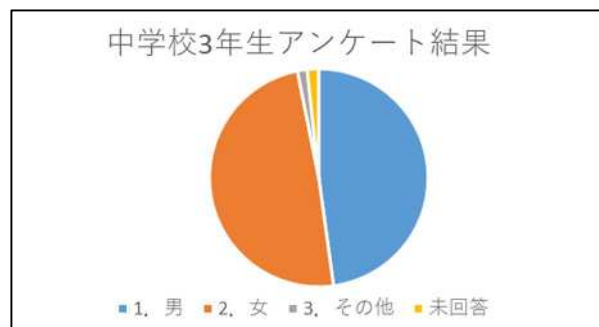
※アンケート項目のうち自由記載の内容は省略しております。

### 設問1 あなたの性別を教えてください。

○15歳以上回答結果



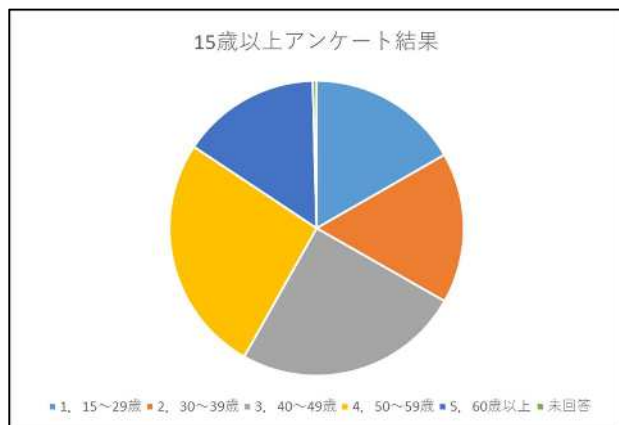
○中学校3年生回答結果 (参考)



- ・15歳以上では女性の回答数が若干多い。
- ・中学校3年生も女性の回答数が若干多い。

### 設問2 あなたの年齢を教えてください。

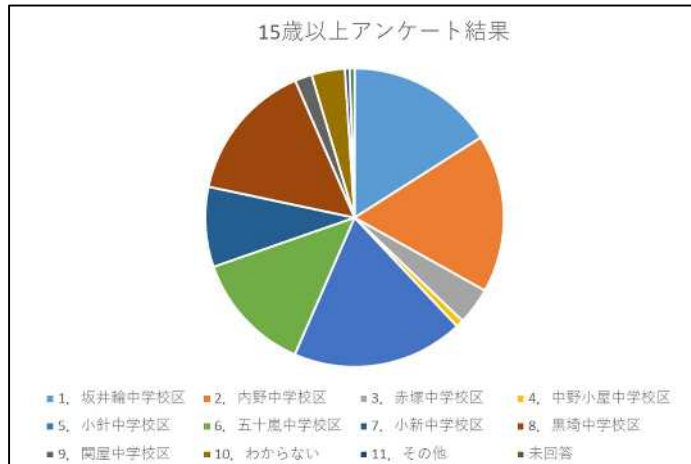
○15歳以上回答結果



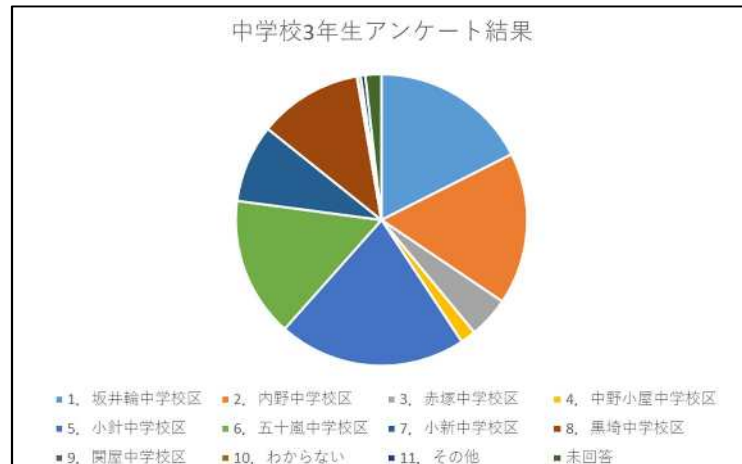
- ・15歳以上では40代、50代の回答数が多い。

設問3 あなたのお住いはどの中学校区ですか。

○15歳以上回答結果



○中学校3年生回答結果（参考）

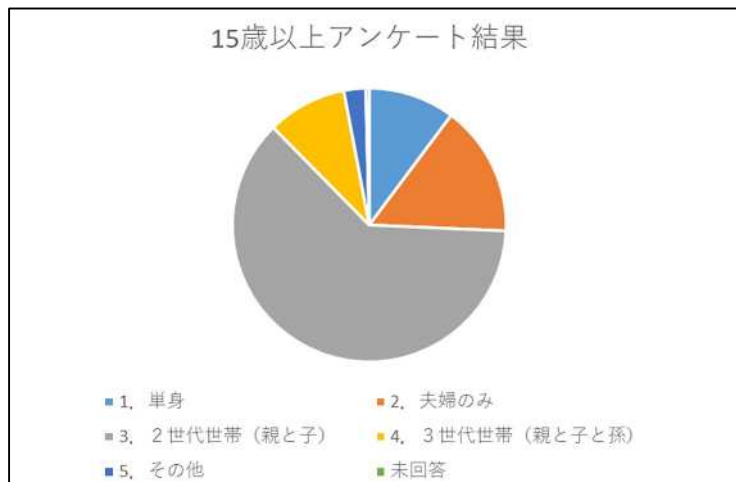


・15歳以上では小新中学校区、坂井輪中学校区、内野中学校区の回答数が多かった。ただ、無差別抽出は年齢を条件に抽出したので、中学校区毎の対象者数はばらつきがある。

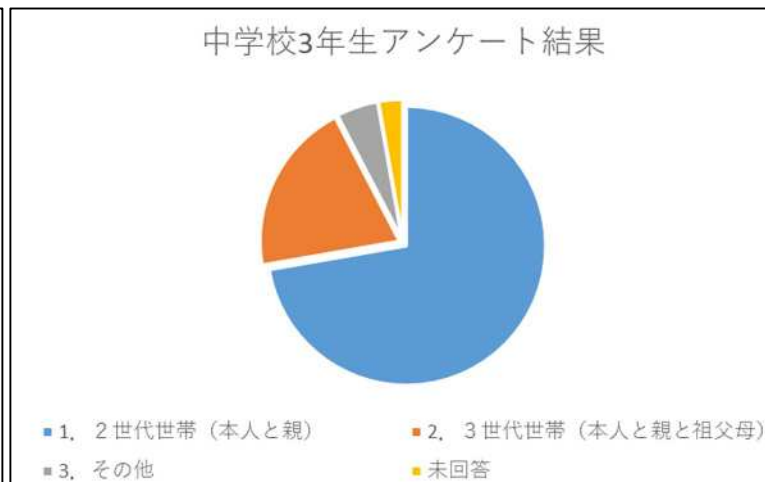
・中学校3年生は小針中学校、坂井輪中学校、内野中学校の回答数が多いが、単純に生徒数の多さが反映している。

設問4 あなたの世帯の家族構成は次のうちどれにあたりますか。

○15歳以上回答結果



○中学校3年生回答結果（参考）

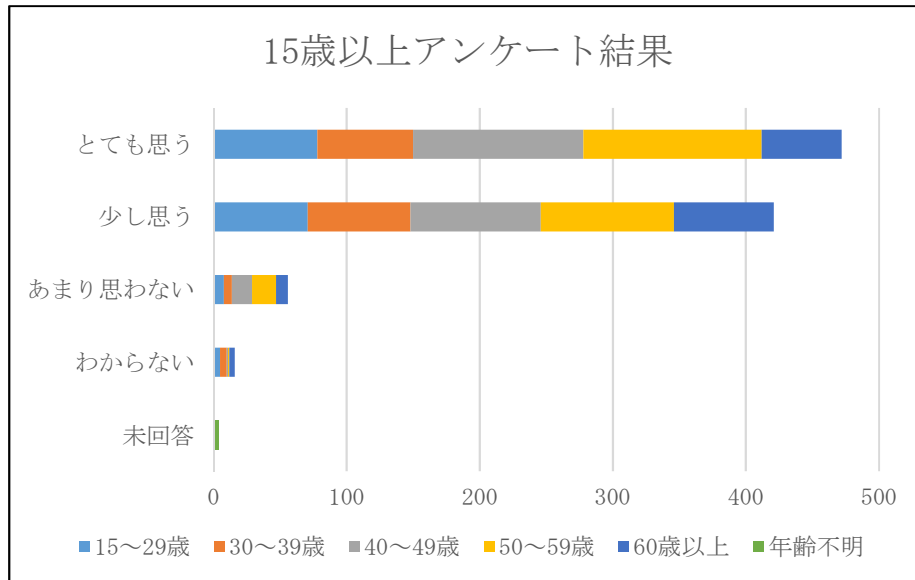


・15歳以上では2世代世帯が1番多く、次に夫婦のみの世帯が多い。

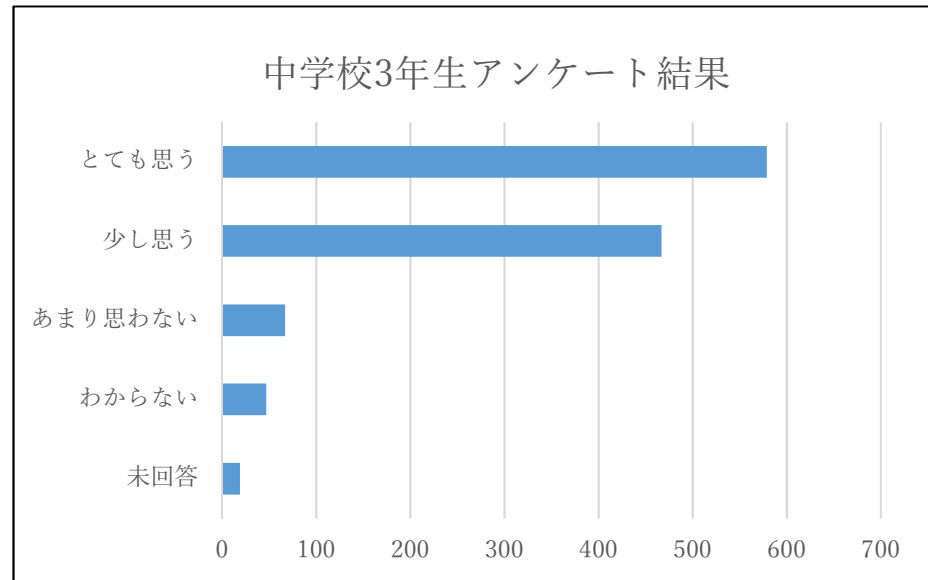
・中学校3年生は2世代世帯が1番多く、次に夫婦のみの世帯が多い。2世代世帯が1番多く、次に3世代世帯が多い。

設問5 「西区のすみごち」は良いと感じていますか。

○15歳以上回答結果



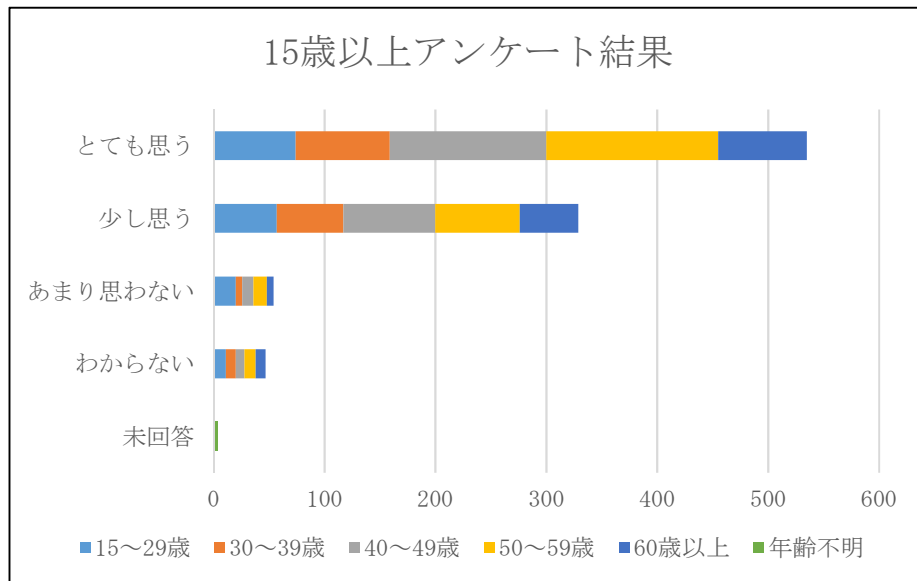
○中学校3年生回答結果（参考）



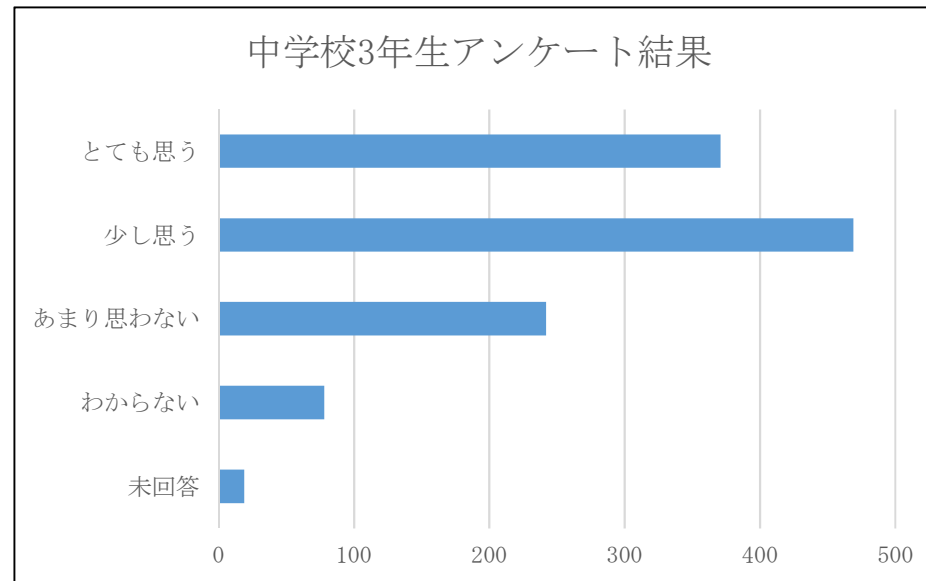
- ・15歳以上では「とても思う」、「少し思う」を合わせて、住みごちが良いと思っている人が大多数である。
- ・中学校3年生も「とても思う」、「少し思う」を合わせて、住みごちが良いと思っている人が多数である。

設問6 西区にこれからも住み続けたいと思いますか。

○15歳以上回答結果



○中学校3年生回答結果（参考）



- ・15歳以上では「とても思う」、「少し思う」を合わせて、住み続けたいと思っている人が大多数である。
- ・中学校3年生は「とても思う」、「少し思う」を合わせて、住み続けたいと思っている人が多数であるが、15歳以上の結果と比べて住み続けたいと思わない人数の割合が多い。

設問7 以下の①から⑳は西区が進めている主な取り組みです。西区が「すみごこち」の良いまちであるためにこれらの取り組みは重要だと思いますか。

○15歳以上回答結果

	特に重要である	重要である	あまり重要でない	わからない	未回答
①子どもたちの健やかな育み	592	357	5	12	3
②健やかに、いきいきとした暮らしづくり	461	467	18	20	3
③高齢者をともに支え合い、助け合う仕組みづくり	380	510	62	12	5
④障がいのある人の自立支援	320	573	41	31	4
⑤地域福祉の推進	314	560	53	35	7
⑥区民と取り組む災害対策	403	491	46	23	6
⑦地域を守る防犯活動	439	478	39	9	4
⑧交通安全の推進	382	527	41	11	8
⑨空き家対策の推進	244	511	139	68	7
⑩地場産農産物の消費拡大とブランド化	223	510	159	67	10
⑪農商工連携の推進と商店街の活性化	205	497	164	96	7
⑫生産者と消費者の交流	113	458	290	103	5
⑬「農」を通じた食育の推進	182	552	154	74	7
⑭多様な学びの場づくり	297	485	119	63	5
⑮地域と学校の連携	282	516	107	56	8
⑯文化の継承と創造	151	502	211	101	4
⑰スポーツの振興	170	493	227	76	3

○中学校3年生回答結果（参考）

	特に重要である	重要である	あまり重要でない	わからない	未回答
①子どもたちの健やかな育み	725	391	10	35	18
②健やかに、いきいきとした暮らしづくり	701	414	13	34	17
③高齢者をともに支え合い、助け合う仕組みづくり	634	435	50	40	20
④障がいのある人の自立支援	673	407	28	50	21
⑤地域福祉の推進	585	467	39	64	24
⑥区民と取り組む災害対策	732	365	32	33	17
⑦地域を守る防犯活動	743	362	26	29	19
⑧交通安全の推進	712	387	34	26	20
⑨空き家対策の推進	509	454	116	79	21
⑩地場産農産物の消費拡大とブランド化	470	478	110	101	20
⑪農商工連携の推進と商店街の活性化	528	444	79	107	21
⑫生産者と消費者の交流	415	464	171	109	20
⑬「農」を通じた食育の推進	491	498	83	88	19
⑭多様な学びの場づくり	605	453	45	55	21
⑮地域と学校の連携	527	468	98	68	18
⑯文化の継承と創造	536	460	83	78	22
⑰スポーツの振興	518	465	116	60	20

※設問7 続き

○15歳以上回答結果

	特に重要である	重要である	あまり重要でない	わからない	未回答
⑱河川の美化と環境づくり	244	574	91	55	5
⑲日本海夕日ラインの魅力アップ	187	423	278	77	4
⑳保安林の保全とボランティア育成	152	540	157	113	7
㉑佐潟の保全と活用	138	484	201	141	5
㉒環境教育の推進	203	588	96	73	9
㉓自然を活かした交流人口の拡大	143	473	219	129	5
㉔緑化の推進	203	555	148	58	5
㉕ごみの減量とリサイクル	326	524	80	34	5
㉖連携による飛砂対策の推進	224	496	116	126	7
㉗暮らしやすいまちのかたち	419	441	40	61	8
㉘区自治協議会との協働	123	466	196	176	8
㉙地域コミュニティ協議会との協働	117	474	182	190	6
㉚コミュニティ活動に参画する人材の育成	112	482	211	160	4
㉛みんなをつなぐ広報・広聴の充実	107	493	235	129	5
㉜はつらつとした風通しのいい区役所づくり	208	530	145	82	4
㉝親しみある区役所づくり	230	527	143	65	4

○中学校3年生回答結果（参考）

	特に重要である	重要である	あまり重要でない	わからない	未回答
⑱河川の美化と環境づくり	668	398	40	54	19
⑲日本海夕日ラインの魅力アップ	499	394	129	135	22
⑳保安林の保全とボランティア育成	481	495	60	119	24
㉑佐潟の保全と活用	479	444	82	147	27
㉒環境教育の推進	581	454	47	75	22
㉓自然を活かした交流人口の拡大	491	474	95	96	23
㉔緑化の推進	652	392	54	63	18
㉕ごみの減量とリサイクル	772	332	22	33	20
㉖連携による飛砂対策の推進	497	456	74	128	24
㉗暮らしやすいまちのかたち	771	324	24	39	21
㉘区自治協議会との協働	446	442	63	201	27
㉙地域コミュニティ協議会との協働	450	443	68	189	29
㉚コミュニティ活動に参画する人材の育成	433	482	102	135	27
㉛みんなをつなぐ広報・広聴の充実	435	485	107	125	27
㉜はつらつとした風通しのいい区役所づくり	496	431	106	121	25
㉝親しみある区役所づくり	547	427	84	95	26

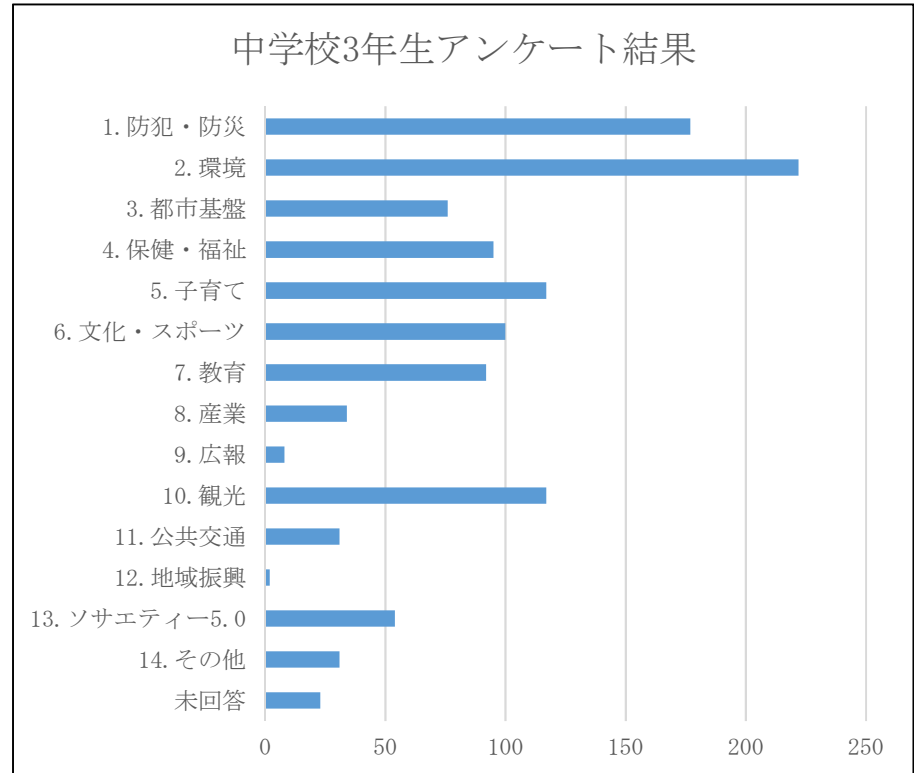
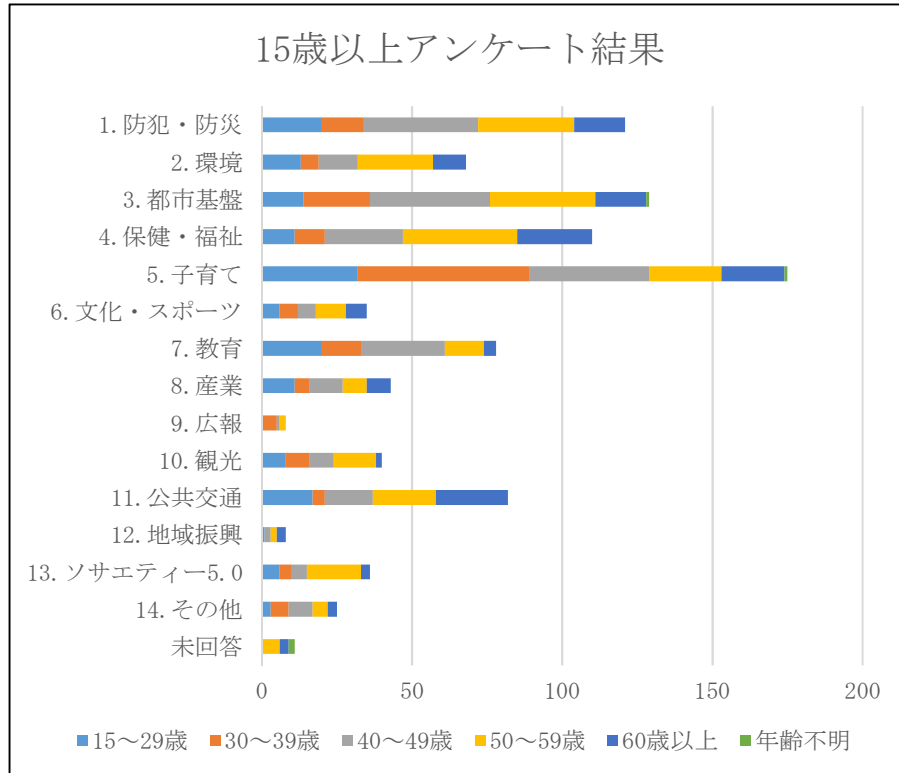
・15歳以上では各種取り組みについて「特に重要である」、「重要である」を合わせて、重要と思っている人が大多数である。なかでも「①子どもたちの健やかな育み」を特に重要であるとした割合が高い。

・中学校3年生は各種取り組みについて「特に重要である」、「重要である」を合わせて、重要と思っている人が大多数である。その中では相対的に産業関係の重要性が若干低く認識されている。

設問8 もし、あなたが1,000円を今後のまちづくりに投資するとしたら、どの分野に投資しますか。

○15歳以上回答結果

○中学校3年生回答結果（参考）

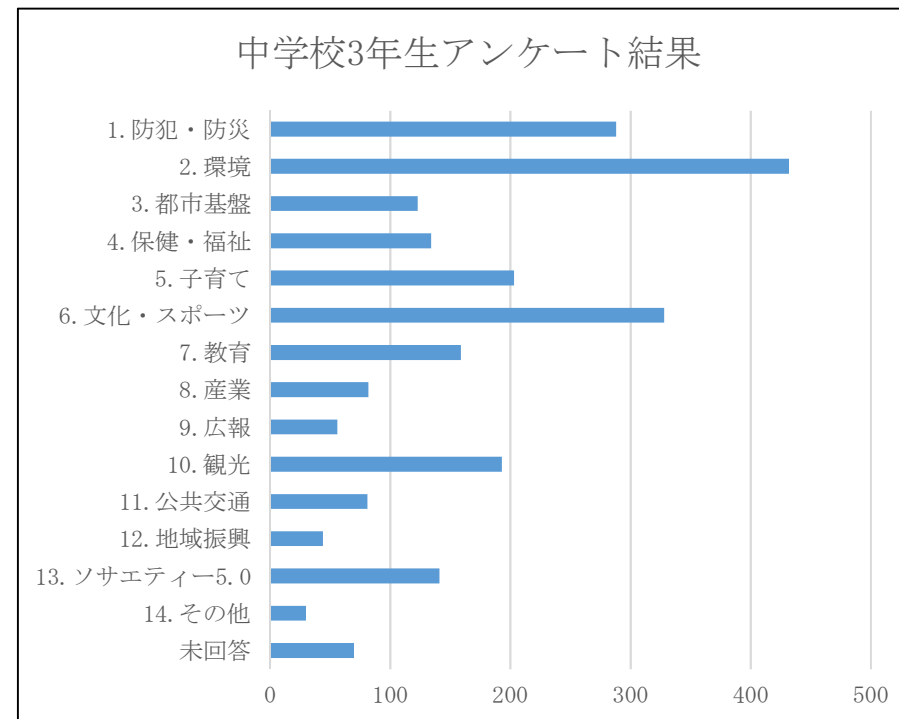
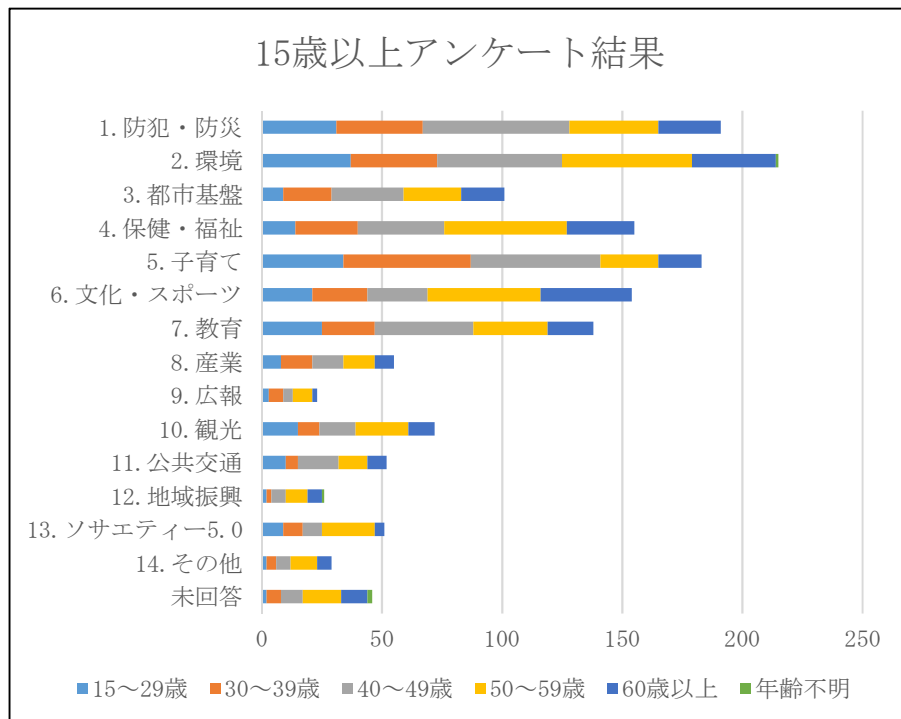


- ・15歳以上では、「子育て」、「都市基盤」、「防犯・防災」、「保健・福祉」が多かった。
- ・中学校3年生は「環境」、「防犯・防災」、「観光」、「子育て」が多かった。
- ・「防犯・防災」、「子育て」は共通して多く、中学生は15歳以上と比べて「環境」を選んだ人の割合が高かった。

設問 10 西区自治協議会が行っているまちづくりの分野の中で、今後あなたが参加したいと思うものを選んでください。  
(複数選択可能)

○15歳以上回答結果

○中学校3年生回答結果 (参考)



- ・15歳以上では、「環境」、「防犯・防災」、「子育て」が多かった。
- ・中学校3年生は「環境」、「文化・スポーツ」、「防犯・防災」が多かった。
- ・自身が参加する場合は15歳以上も「環境」が多くなった。環境美化やリサイクルは個人でも気軽に取り組めることも要因ではないか。